

芦屋市議会議員

大原ゆうき

令和2年
12月定例会特集Blog ブログ、日々更新中!
<https://oohara-yuuki.blog.jp/>

大原 裕貴

@ooharayuuki

JR芦屋駅南地区。事業実施による課題解決は成し遂げられるのか？

事業の経緯について

2017年3月	芦屋市都市計画審議会の同意を得て都市計画決定
2018年5月	兵庫県による事業認可
2018年6月	市議会による条例可決(全会一致)
2020年3月	再開発関連予算を削除する内容の修正が提出され、修正可決(賛成多数) 市長からの再議請求を受け、再議。再議の結果、都市再開発事業特別会計予算が否決(賛成少数)
2020年6月	事業費削減の計画を策定するための暫定予算が可決(全会一致)

12月定例会で起こったこと

- 当局より、事業費を約34億円縮減した計画案が示される。
- 今年度執行予定分の予算約7.7億円を計上した都市再開発事業特別会計予算が市長提出議案として提出。
- 委員会審査中、一部議員から修正案が出される。
修正案の内容は「道路幅を前提とした街路事業に事業手法を変更せよ」という趣旨に基づく予算減額案。
- 本会議において、賛成多数で修正可決。その後、市長からの再議請求により、修正案は賛成少数で否決。
その後、再度採決された原案は否決。
- 議会閉会后、人件費などの必要最低限経費を暫定予算として専決処分

結果として、今年度の再開発事業の進捗は完全にストップすることに。

修正案に対する考え

修正案については、以下のとおり、修正に伴うプラス要素よりも急転換によるマイナス要素の方が圧倒的に大きいと考えるため、「**反対**」しています。

1. 実現性の問題

- ・これまで協議してきた計画をひっくり返した後に用地取得交渉がスムーズに進むとは思えない。

2. 安全面の疑問

- ・駅北側道路と同じような道路を南につくっても、駅南地区が抱える交通課題の抜本解決にならない。
- ・そもそもの目的が「交通課題の解決」である以上、ここがブレると何のための事業が分からない。

3. 費用対効果の問題

- ・事業手法を変えても結局大きな支出に。中途半端に減額し、中途半端なものをつくるのは問題。

4. 潜在リスクの問題

- ・進行中の事業を止めることによるリスクが大きい(地権者からの訴訟やJR西日本への違約金など)

詳細は↓



内部統制ルールが適正に執行される土壌をつくるべき

12月定例会一般質問：「内部統制制度の義務化を見据えた取り組みについて」より

背景

- 人口減少を受け、市役所の組織体制の維持が難しくなる可能性がある。
- 行政サービスへのニーズの多様化により、規模縮小に反して業務量が増加する。
- 平成29年9月に改正された地方自治法により、都道府県と政令市への内部統制の制度化が義務化。（2020年4月から施行され、中核市と一般市は努力義務）
- 衆参両院の総務委員会で「義務化自治体以外でも検討すべき」との付帯決議が付され、将来的な義務化の流れがある。

課題

- 財務分野の識見監査委員がおらず、財務事務に関する専門的見地からの監査に弱みがある。
- 財務事務におけるミスは行政運営上、クリティカルなリスクとなりうる。

質問要旨

- 内部統制の制度化の前段階のリスク洗い出しなど、将来的な義務化を見据えた研究を進める余地があるか？
- 行革に内部統制制度をプラスすると業務の効率的遂行の推進となると考えるが、どのように考えるか？

当局答弁

内部統制制度を整えることは、業務の適正な執行や事務処理の改善の点で有効と認識しており一般市への義務化の有無にかかわらず、準備を進めることとしている。令和3年度に都道府県等から公表される報告書を精査し、本市の現行の内部統制の取り組みと比較検討しながら、最適な制度を設計する。

現在作成中の新行財政改革との関係は、業務変革の取り組みの中で実施する業務の棚卸し等に内部統制制度の考え方を取り入れながら進めることで業務の可視化や意識改革により一層の効率化や信頼性の向上に資するものと考えている。

思うこと

内部統制は、既に地方自治体において策定されているもの。今般の改正による制度化は、報告書を公開することにより、内部統制を「見える化」し、内部統制として定めたルールを形骸化させないということが大きいと思っています。

今まではクローズドなところで行われていた業務スキームが公になるということは、業務プロセスに内在している不合理なルールや無駄を排除するなど、「業務の有効性」「業務の効率性」の向上に繋がります。業務の有効性と効率性を向上させることは、「最小の経費で最大の効果の創出」に繋がるため、現状、市が抱えている問題（抑制傾向が見られない超過勤務、少子化に伴う体制縮小の懸念）に対しても有効に作用する取り組みであると考えます。

詳しい内容はこちら →



プロフィール

- 昭和59年(1984年)2月8日 芦屋生まれ (36歳)
- 伊勢幼稚園、シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- 平成27年、芦屋市議会議員選挙にて初当選。平成31年、再選(現在2期目)

出前報告会募集中!

お一人での座談でも、複数での報告会でもお気軽にお申し付けください!
希望日時と人数、希望テーマ(あれば)を添えて電話 or メールにてご連絡ください。